

このページは、小・中学生に向けて梅光学院大学子ども学部子ども未来学科(地域共生ゼミ)の学生が作っています。

※イラスト 森 香さん

# しものせき キッズページ



## ShiMoBiに行ってみよう!!

ShiMoBi... 下関市立美術館



▲長谷川三郎が描いた3つの掛け軸で1つの作品

皆さんは、下の①～③、④の作品に、「3」と関係するものをいくつか見つけられるでしょうか？作者の名前や制作年に「3」が関係しているよ。数字の「3」だけが隠れているとは限らないよ!

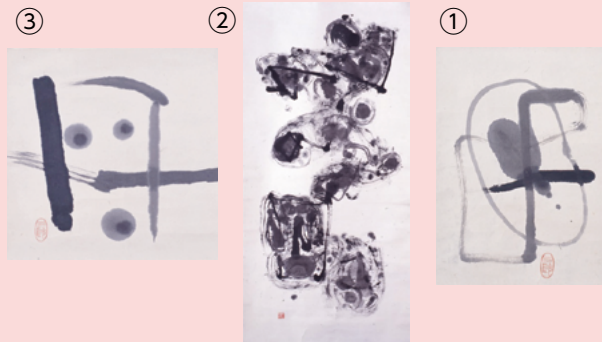
キーワードは「3」



今年、市立美術館は開館33周年を迎えます。今回紹介する所蔵品展は、9月4日まで開催している「特集・開館33周年記念キーワードは「3」です!」は調和を表す縁起の良い数字。タイトルや作家技法と、いろいろな視点から「3」をキーワードに作品を展示しています。その中から絵画とポスターの2点を紹介します。

キーワードは「3」  
どんな3が隠れているだろうか??

1つ目①～③の作品は、長谷川三郎が1950年に墨で描いた「Triptych, abstract」(三部作、抽象)という三幅対(三幅で1組の作品)になった掛け軸の抽象絵画です。



▲長谷川三郎《Triptych, abstract (三部作、抽象)》1950年

長谷川三郎の作品では、いろいろな「3」を見つけたことができます。中央の作品の隅には、作者の名前「三郎」の「三」という文字の印。③の作品には、丸が3つ。☆作品に使われている素材が、紙・木・布の3種類で構成。☆3つの掛け軸で1つの作品

2つ目④は、フランス出身のトゥールーズ・ロートレックが1893年に制作した《ディヴァン・ジャポネ》と題する石版によるポスターです。「ディヴァン・ジャポネ」とは、「日本の長椅子」という意味の音楽喫茶の名前です。



▲トゥールーズ・ロートレック《ディヴァン・ジャポネ》1893年

ロートレックのポスターの中に隠れた「3」は何? ☆特徴的な人物が「3人」彼らは、19世紀末のパリで活躍した有名な踊り子や歌手、音楽評論家と、いった美在した人物です。☆数字の「3」に見える形や線もあります

美術館には、この作品以外にもたくさん「3」に関する作品が展示されています。ぜひ、市立美術館に行つて、探してみたい!

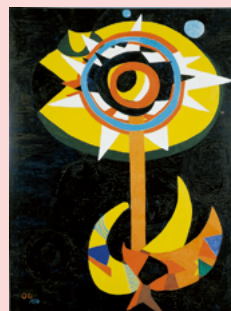
下関市立美術館

(☎ 245 4131)

他にも「3」に関係する作品が展示されているよ



▲ジュール・シェレ《帽子市》1895年



▲瑛九《黄色い輪》1954年



▲岸田劉生《THE SUN (太陽)》1913年



7月号の編集記者(左から) 森 香さん、村上 涼さん、平山智絵さん